

青梅療育院と皆様をつなぐ情報誌



# しあわせだより

2018

Vol. 84



(ふれあい納涼会)

施設長 宇津木 敏郎

一九二三年九月一日正午に発生した関東大震災から九十五年になります。当時の記録から首都圏を直撃した巨大地震は、台風の余波による強風に煽られ大規模な延焼火災に拡大し、十萬棟を超える家屋を一瞬のうちに倒潰し、死者行方不明者は十萬五千人を超えたと言われています。このような大災害は今後益々発生する心配があります。

最近では東北大震災や熊本地震など連続して大災害が発生し、今年七月には西日本一帯を襲った集中豪雨によって、極めて深刻な被害をもたらした多くの犠牲者が出ています。

近年の工業の近代化や生活様式の多様化に伴って、多量の科学性物質や燃料の消費増などを起因として、地球温暖化による気象変動の影響で、予測できない大規模な自然災害が毎年のように発生し、その都度大きな被災や犠牲者が出ています。

当施設も一昨年の八月に台風の影響によって、一時間一〇ミリの集中豪雨により、床上四十センチの浸水被害を受けました。その際には多くの皆様のご支援ご協力をいただき、清掃や片付けなども数日で終え、業務再開ができましたが、一階のすべての電気器具や備品類が使用不能となつて大きな打撃を受けました。

地震や台風などによる自然の猛威は、測り知れない巨大エネルギーによる破壊力に、その恐ろしさを痛感します。そのため常に防災意識を高め、利用者様の生命を守るために、欠かせない防災体制の備えが必要で、さらに安全対策の徹底に努めていくよう心掛けています。

## 今後の行事予定

9月

誕生会  
十五夜茶話会  
敬老会  
利用者と施設長の対話

10月

誕生会  
運動会  
日帰り旅行  
給食懇談会

11月

誕生会  
文化祭  
レクリエーション交流会  
紅葉ハイク  
寿司の日  
インフルエンザ予防接種  
利用者と施設長の対話

12月

誕生会  
保育園お遊戯会  
クリスマス・忘年会  
餅つき大会  
寿司の日

### 編集後記

気温四十度を超える日まで出た今年の夏。さすがに体に堪える毎日です。そんな中、ふれあい納涼会では自治会の皆さまに設営から片付けまでご協力いただき、心から感謝申し上げます。  
まだまだ暑さ厳しい日が続きますが、熱中症に充分気を付けてこの夏を乗り切っていきたいですね。

情報委員会

## 平成二十九年事業報告

施設長 宇津木 敏郎

### 一、経営理念の実践

社会福祉法の一部改正によって、社会福祉法人の組織に評議員会が設置されることとなり、新たに評議員七名の委員選任が行われ、理事会への業務執行の牽制機能として、法人経営組織の強化が図られることになりました。

特に社会福祉法人が公益性・非営利性のもとに、事業運営において常に透明性を維持した事業経営を執行するとともに、地域から信頼される組織としての事業展開を図っていくために、地域の福祉拠点としての役割を意識しながら行動し、信頼関係をさらに深めてまいりました。

その実践においては経営理念に定めた「地域との連携を深め、信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。」の理念に沿って、積極的な行動により実績を高めることができました。

### 二、経営の安定化

財源が介護報酬単価に限定される事業経営は極めて厳しい財政状況の中で、常に事業収支の

バランスに配慮しながら業務の適正な執行に努めてきました。しかし年度前半期において長期入院者が十名を超える状況が続いたため、稼働率の低下によって介護料収入の減収が懸念されたことから、空床利用による短期入所利用者の受け入れを積極的に行ったが、稼働率が九五%を下回る極めて厳しい結果となりました。業務の執行においては危機管理意識の徹底を図ってきました結果、食中毒やインフルエンザの感染発症もなく、適切な事業の執行を図ることができました。

### 三、地域福祉との関わり

介護保険事業における社会福祉法人の役割や責任について、事業内容を地域の方に理解していただくために、施設入所者の生活状況とその介護方針を基本として、問題となる行動や生活支援に対する職員の心構えなどについて、業務の実情を説明したり、在宅高齢者の介護予防に関する勉強会を開催して、地域との関わりを深めてきました。その中で要介護者に対する人権の尊重を重視した介護サービスの取組みや、家庭内での介護において配慮すべき問題などについて説明し、認知症予防対策に関しても関心を深めることができました。

### 四、組織の強化と人材育成

地元高齢者の組織活動として、毎月施設内の除草奉仕活動を行っていただき、地元自治会の皆様の協力を得て、「ふれあい納涼会」を盛大に執行することで、地域住民との信頼関係が一層深まってきました。

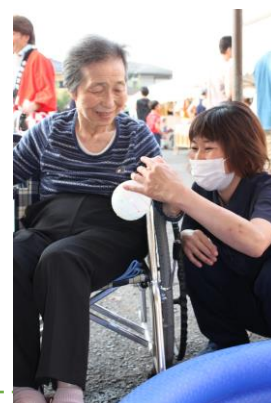
近隣の青梅市立藤橋小学校六年生が、毎日下校時に数人ずつ交替で施設内の清掃ボランティア活動は三十一年間も続いており、児童にとって貴重な社会体験となっています。

介護人材の不足が深刻な社会問題となっており、人材の確保についてハローワークや新聞の折り込みチラシ等で、数回にわたり募集を行っていましたが応募者がなく、極めて深刻な状況が続いています。介護職員の不足は業務全般に大きな支障となるとともに、利用者皆様の生活の安全配慮にも欠くことの出来ない課題であり、厳しい業務環境の中で信頼性と安全性を必要とするサービスの提供について、職員個々の技能の向上を図るため、介護技術研修等によって組織マネジメントの強化に努めてきました。また職員の能力向上における指導者育成に対して、キャリア段位制度の取得に向けて、個別研修の充実に努めてきました。

## ふれあい納涼会



7月21日（土）ふれあい納涼会を開催しました。  
暑い暑い日でしたが、地域の皆様やご家族の皆様と  
いつも以上に楽しい時間を過ごされた利用者様。  
やきそば・焼き鳥・かき氷に・綿菓子・・・  
遊戯模擬店ではヨーヨーを上手に釣り上げていらっ  
しゃいました。



## 《 家庭菜園始めました 》

利用者様のリクエストにお応えして、当施設でも  
初めて家庭菜園にチャレンジ。



毎日水まきをして、キュウリ・ナス・トマト  
と大収穫でした。

## 職 員 紹 介

今年度より機能訓練指導員として入職しまし  
た。入職時、私の役割は利用者様に運動をして  
頂く事、機能回復を目指した計画を立てリハビ  
リを行って頂く事、このように考えていまし  
た。ですが実際に利用者様と関わっていくと寝  
たきりの方や車イスで生活されている方もいま  
す。そこで、普段の日常生活の動作一つ一つを  
運動、リハビリとして考え「今できること」を  
維持して頂くことから取り組んでいます。  
一日一笑を心掛け、日々精進して参ります。



機能訓練指導員

久保  
雅輝



# 想 い 出 フォトライブラリー

思い出のフォトライブラリーは、青梅療育院に入居されておられる方々の4月～7月までのホーム内で行われた行事の記録です。日頃の入居者様の様々な表情を写真でお伝えするものです。

## つつじハイク



4月28日（土）薬王寺へつつじハイク。  
残念ながら満開からは少し遅れてしまいましたが、「きれいだね～」と喜んでくださる利用者様の姿に職員も幸せな気持ちになりました。

## 羽村動物園見学



5月18日（金）羽村動物園へ。  
童心に返り小動物ともふれあい、  
キリンさんと一緒に「はい！ポーズ！！」

## 七夕祭り



かすみ台第三保育園の園児の皆様から、七夕飾りを頂きました。利用者様も楽しみにしながら準備を進め短冊に願いをこめ、飾りつけをしました。どうか、皆様の願いが叶いますように。

## 迎え火・送り火



7月13日迎え火、7月16日送り火を利用者様と職員でオガラをたき御霊供養を行いました。2日間共にとても暑い日でした。キュウリの馬に乗って早く帰ってきて、帰りはナスの牛でゆっくり戻って下さい。日々、ご先祖様に感謝です。